

(5) 広島駅南口周辺の環境整備について

ア 路面電車を駅前大橋ルートにする場合における広島駅南口周辺のまちづくりイメージ

(7) 広島駅南口周辺における歩行者ネットワークの構築 (図2-16参照)

路面電車の駅ビル接続により、自由通路と同一レベルで接続可能になる2階レベルを主動線として、南口広場を中心にA・B・Cブロック及び広島東郵便局方面へのペDESTリアンデッキの整備、またB・Cブロック間や、Bブロックから猿猴橋町方面にも接続することにより、南口周辺の歩行者ネットワークを構築し、回遊性の向上を図ることについて検討します。

(i) 廃線敷の利活用

路面電車のルートを変更し、既存路線の一部を廃止にする場合に生み出される軌道敷(幅員:約6m)について、以下のように活用し当該地区の賑わいの創出につなげることにについて検討します。

猿猴橋町付近: 歩行者空間として活用することで歩道を広くし歩きやすいものとし(図2-14参照)。

荒神橋付近: 歩行者空間として活用することで歩道を広くし歩きやすいものとし。また、自動車空間として活用し自動車交通の円滑化を図ります(図2-15参照)。

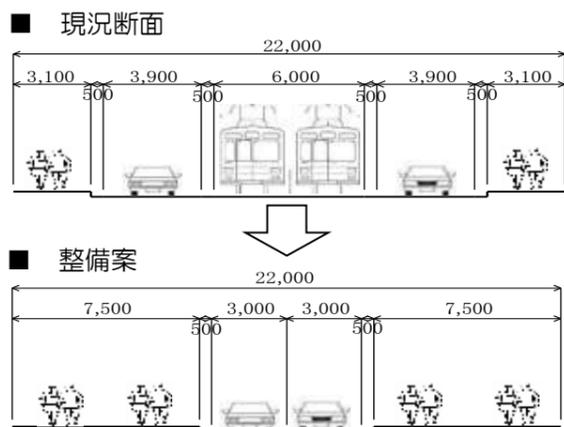


図 2-14 廃線敷の利活用イメージ (猿猴橋町付近)

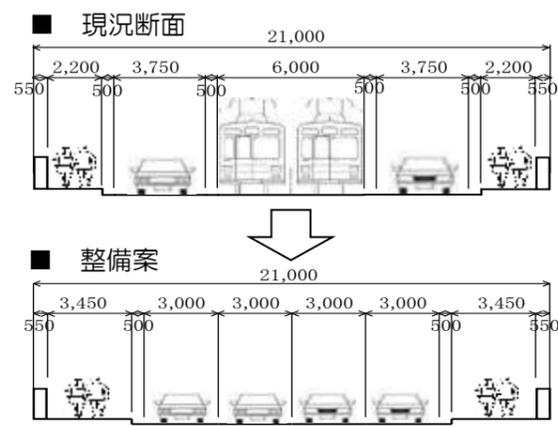


図 2-15 廃線敷の利活用イメージ (荒神橋付近)

(ウ) その他の環境整備

その他、当該地区の賑わいの創出に向けて、以下の事業等についても取り組むことを検討します。

- a 猿猴橋復元事業
- b 河岸緑地の整備
- c 猿猴橋通りの整備

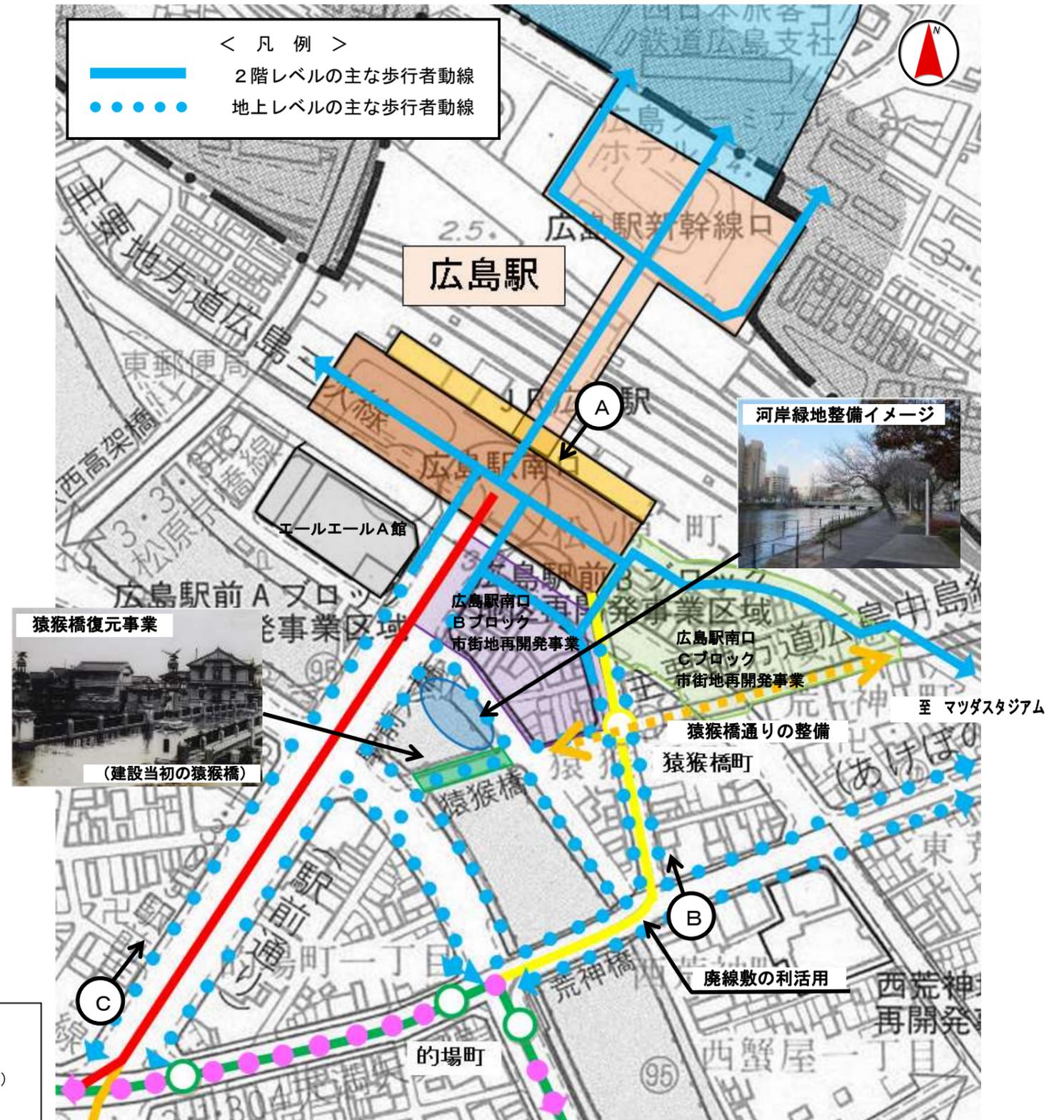
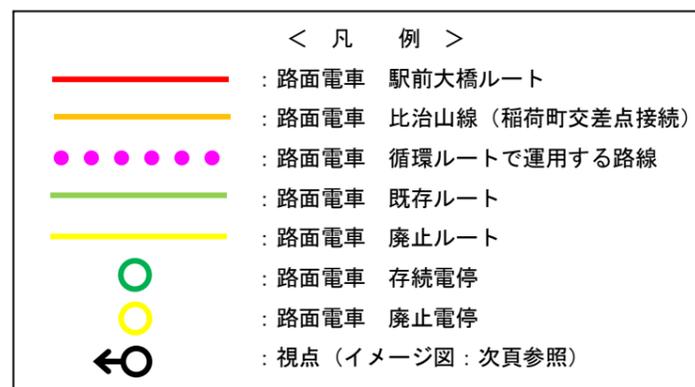
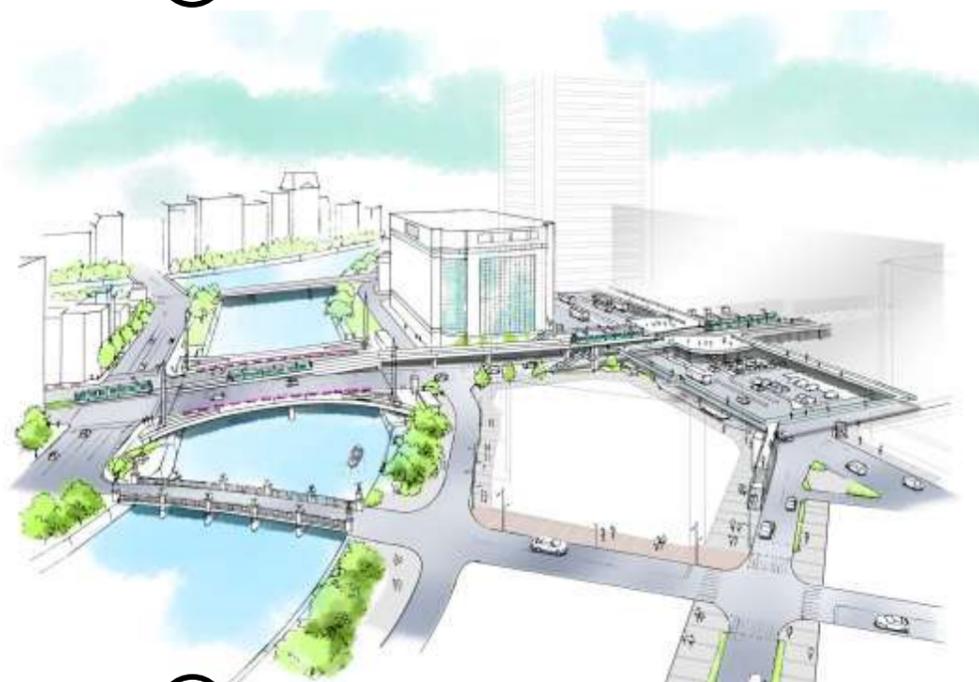


図 2-16 広島駅南口周辺のまちづくりイメージ



Ⓐ 図 2-17 広島駅から稲荷町方面



Ⓑ 図 2-18 猿猴橋町から広島駅方面



Ⓒ 図 2-19 稲荷町から広島駅方面

駅前大橋ルート（循環ルートを含む）とした場合のイメージ図をお示しします。  
 架線柱をセンターポールとすることなどについて検討を進め、仮に駅前大橋ルートとする場合は景観に配慮した整備となるよう取り組みます。

### 3 今後の進め方について

平成25年8月から開催した地元説明会（計4回）でいただいた御意見を踏まえ、着実に検討作業を進め、路面電車の進入ルートを含む広島駅南口広場の再整備について、今年度のできるだけ早い時期に市としての基本方針を決定します。

その後、事業化に向けた検討を行い、南口地区において、都市機能の更新等を図るために現在進めている市街地再開発事業に引き続き、南口広場の再整備を行うことにより交通結節機能の強化や回遊性の向上を図り、当該地区が広島陸の玄関にふさわしいまちとなるよう取り組んでまいります。

なお、今後も事業の進捗段階に応じて、適宜、地元に対して丁寧に説明しながら、南口広場の再整備に取り組んでいきたいと考えています。